昭和59年９月27日制定　平成12年10月13日改正
昭和62年４月１日改正　平成18年10月28日一部改正
平成２年４月１日一部改正　平成22年10月31日一部改正
平成５年10月９日一部改正　平成23年10月22日一部改正
平成７年９月30日一部改正　平成24年5月13日一部改正
平成９年10月４日一部改正　平成25年10月12日一部改正
平成12年２月６日改正　平成26年10月25日一部改正

『音楽教育学』 投稿規定

Ⅰ　投稿資格

1．投稿者は，本会正会員，名誉会員，特別会員に限る。ただし共同執筆の場合の筆頭者以外については，この限りではない。
2．正会員，特別会員については，当該年度の会費が納入されていることが求められる。
3．新入正会員については，入会の翌年度から投稿できるものとする。

Ⅱ　投稿の種類と一般的な注意

1．本誌への投稿は，音楽教育に関するものとし，未発表のものでなければならない。
2．本誌への投稿には「研究論文」「研究報告」「論考」「研究動向」「書評論文」「書評」「反論」等がある。
　ア「研究論文（research paper）」とは，音楽教育に関する学術的研究で，研究論文の体裁にふさわしい内容のものをさす。
　イ「研究報告（research report）」とは，学会誌にふさわしい内容の「中間報告」「調査報告」などをさす。
　ウ「論考（critical review）」とは，学術研究論文としての体裁はとらないものの，学会誌にふさわしい内容の音楽教育批評，評論，論述などをさす。
　エ「研究動向（overview）」とは，特定分野における近年の内外の研究を展望したものをさす。
　オ「書評（book review）」とは，音楽教育学の発展に寄与すると思われる新刊の図書および視聴覚資料（過去５年以内に刊行されたもの）を対象とする批評をさす。論文としての体裁にふさわしい分量と内容で書かれた批評である場合，「書評論文」とする。
　カ「反論（rebutta1）」とは，過去２年間に『音楽教育学』に掲載された「研究論文」等に対する反論をさす。
3．「研究論文」「研究報告」「論考」「書評論文」の掲載は，会員１人につき１年度に１件を限度とする。共同執筆の場合もこれに準ずる。

Ⅲ　執筆要領

1．用いる言語は日本語とする。句読点は「。　，」を使用する。
2．原稿はワープロ等で作成し，Ａ４判横書き，原則として 23字×35行の２段組とする。ただし，論考，

研究動向，書評論文，書評，反論については，冒頭８行を題目等のスペースとする。

３．投稿の種類ごとの本文の分量は以下の通りとする。

研究論文 11ページ以内（題目・要旨・キーワードは含まず，別紙３に記載する）

研究報告 10ページ以内（題目・要旨・キーワードは含まず，別紙３に記載する）

論考 ８ページ以内（冒頭８行を題目等のスペースとする）

研究動向 10ページ以内（　　同上　　）

書評論文 ６ページ以内（　　同上　　）

書評 ２ページ以内（　　同上　　）

反論 ３ページ以内（　　同上　　）

４．本文の分量には，注，引用・参考文献，および，譜例，図版，図表，写真等のスペースも含む。

５．原稿にはページ番号をつける。

６．所属・氏名等は別紙１（投稿申込書）に記し，原稿本文，要旨には記載しない。また，「拙稿」「拙著」等，投稿者名が判明するような記述を行わないこと。

７．内容的に連続する論文であっても，題目および論文構成はそれぞれにおいて独立・完結した内容でなければならない。

８．執筆にあたっては，学会ホームページ上に掲載した最新の「投稿の手引き」を参照すること。「投稿の手引き」には『音楽教育学』の標準的な書式を示してあるが，研究分野によってこの書式で不都合がある場合には，学術的に裏付けられた一貫した書式に従うこと。

９．注（note）と引用・参考文献（reference）の書式について

ア　注と引用・参考文献は区分する。

イ　注は補足説明とし，本文中該当箇所の語句の右肩に通し番号で１）２）のように示し，説明文は本文の最後にまとめて番号順に記載する。

ウ　引用・参考文献を示す場合には，原則として，本文中の適切な箇所に，著者姓 発行年，引用ページ を示しておく。

例　（小泉 1958, pp. 67-69）（Mursell 1956, p. 52）

エ　引用・参考文献は注に続いて本文の最後にまとめて記載する。欧文，和文の順に区別し，欧文は著者姓のアルファベット順，和文は五十音順に記載する。著書は，著者姓名（発行年）書名 出版社を示し，論文等は，著者姓名（発行年）論文題目名，掲載誌名，巻号，論文掲載ページを示す。なお，本文中で引用・参照していない文献は掲載しない。

例　小泉文夫（1958）『日本伝統音楽の研究Ⅰ』音楽之友社.

Mursell, James L. (1956). *Education for Musical Growth.* New York: Silver Burdett.

星野圭朗（1973）「ORFF-SCHULWERKの系統性（2）」『音楽教育学』第３号，pp. 54-66.

10．図表，譜例，写真等の扱いについて

ア　図表，譜例，写真（デジタル・データ）等は，B5判に縮小されることを考慮して，本文中の適切な箇所に挿入し，刷り上りの印刷位置と大きさがわかるようにする。

イ　データとして本文に挿入できないものについては，提出されたものを写真製版するので，鮮明で大きめの原図・写真を別に添える。本文中の印刷位置と大きさがわかるよう，挿入箇所には図１，表１，譜例１等を明示する。

11. 「書評論文」「書評」における書誌データについて

掲載にあたっては書誌データが必要となるため，原稿冒頭の題目に明記すると同時に，和書の場合には奥付，洋書の場合には内表紙裏，視聴覚資料の場合には解説書等のこれに代わる箇所のコピーを原稿送付の際に同封すること。

Ⅳ　原稿の送付

1．発刊期日との関係で，5月15日，8月15日，11月15日，2月15日の年４回を締切とする。ただし，投稿は随時受け付ける。

2．投稿原稿（図表，譜例，写真等を含む）はオリジナル原稿（プリントアウトしたもの）１部とコピー原稿３部の計４部を提出すること。なお，採録が決定した場合のみ，オリジナル原稿１部および電子媒体による原稿の提出を求める。

3．別紙１（投稿申込書）に以下の項目を明記して１部提出すること。

ア　投稿の種類（「研究論文」「研究報告」「論考」「研究動向」「書評論文」「書評」「反論」等）

イ　和文題目

ウ　執筆者姓名（ふりがな，ローマ字も付けること）

エ　所属

オ　現住所または連絡先の住所および電話番号（FAX ・ E-mail）他

4．別紙２（投稿者用チェックリスト）を記入して１部提出すること。

5．「研究論文」「研究報告」については，別紙３（研究論文・研究報告の要旨およびキーワード）に以下の項目を明記して４部提出すること。ただし，「研究報告」にあっては，かならずしも，英文題目，英文要旨，英語のキーワードを必要としない。

ア　和文題目

イ　日本語要旨（400字以内）

ウ　日本語キーワード（５語程度）

エ　英文題目

オ　英文要旨（200語以内）

カ　英語のキーワード（５語程度）

6．英文要旨はネイティヴ・スピーカーによるチェックを経たものとする。

7．送付先は，下記「日本音楽教育学会編集委員会」宛とする。

〒184-8799　小金井郵便局私書箱26号

日本音楽教育学会　編集委員会

8．送付方法は郵送のみとする。

9．提出された原稿等は，原則として返却しない。

Ⅴ　原稿の採否等

1．「研究論文」「研究報告」「論考」「書評論文」の選定に際しては，２名以上の査読者による意見を参考にして，編集委員会がその採否を決定する。査読者は，編集委員会が委嘱する。なお，編集委員会は，必要に応じて執筆者に内容の修正を求めることがある。

２．前項目以外の原稿は編集委員会がその採否を決定する。なお，編集委員会は，必要に応じて執筆者に内容の修正を求めることがある。

３．掲載号および掲載順序は編集委員会が決定する。

Ⅵ 校　正

１．校正は，初校のみ執筆者が，それ以降は編集委員会が行う。

２．著者校正の際は，印刷上の誤り以外の修正や挿入を行ってはならない。